



国会ごとに総会や役員会を開催している協同労働推進議員連盟は、この臨時国会では役員会を開催(11/29)。厚生労働省雇用環境均等局堀井局長より、64団体が設立され、多様な分野で多様な主体が、多様な働き方をしている実践を紹介。また来年度厚労省事業として、都道府県単位で労働者協同組合を推進する協議体を設置して周知・設立支援をモデル的に取り組む提案が説明された。当事者団体としてワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン(WNJ)と日本労働者協同組合連合会(ワーカーズコープ連合会)が発言し、活発な質疑応答も行われた。

ワーカーズコープ連合会では、「協同労働実践交流全国集会2023」を開催(11/18)。テーマは「一人ひとりが、安心して素直に話し合うことができる仲間づくり、働きやすい職場をつくるために」。全体会ではパネルディスカッションを行い、新たに立ち上がった労働者協同組合コモンウェーブと、大人数で構成されるワーカーズコープ・センター事業団のみなと子育て応援プラザPokkeが登壇。

コモンウェーブからは、子どもの様子を毎日スタッフで振り返り、子どもの変化成長を共有することで共通認識が深まっていること、スタッフの関係性が構築されていく日常的な取り組み、一年間の事業の振り返りと今後に向けた取り組みについて全組合員会議で話し合い、総会議案作成につな

げた実践などを報告。

Pokkeからは、約60人が働く大所帯の事業所で、階層的な会議のしくみをつくり、小さい単位で一人ひとりが意見を言いやすい環境づくりや、改善してほしい内容がある全体で議論するやり方などの取り組みを報告。協同総研の岩城事務局次長が何回もPokkeに通って分析した解説も含め、とてもよく内容が伝わり、多くの参加者より一人ひとりを大事にするために、大変な工夫をして意見を反映するしくみをつくっていることに賞賛の声が上がっていた。

午後の分散会を含め、一人ひとりが話し合いをあきらめず、改めて原点を思い出し、意見反映や全組合員経営に取り組む契機としたいと、感想が多く寄せられた。

加盟組織の取り組みでもさまざまな活動が開催され、コモンウェーブ総会(11/23)では全組合員を対象とした理事の投票や「よい仕事」のワークショップが行われ、創造集団440Hzの「世界に自分を取り戻す」(11/25)では、毎年の自分の生き辛さを解体しより自分の求める生き方を捉えるための研究発表が行われた。共同連大会(11/25)では、「ともにはたらく」をテーマにしたワーカーズ・コレクティブの報告や、地域と連携したワーカーズコープの報告、新しく立ち上がったアメニティ労働者協同組合の報告など、労働者協同組合や協同労働を探求する多様な報告が行われた。

ワーカーズコープ連合会理事会でも、3回学習シリーズの2回目として「意見反映・ファシリテーション学習会」を北海道のファシリテーション研修に取り組む「キタノワ」を講師に迎え、話し合い・対話・議論などの違いを事例やワークを通して学ぶ。理事会では新たにTNG労働者協同組合(正会員。海外や国内の労働者協同組合のプログラムなどの仕事を外国人も含めた

組合員とともに取り組む)、一般社団法人ソーシャルファーム栃木(準会員。農業や物流作業を通して、障がい者の就労を継続就労支援A型・B型を活用して実施)が承認された。新たな領域や新たな働き方の加盟組織も増え、一層の実践の共有を図りながら多様な設立・設立後の支援や、加盟組織とともに地域での協同労働を推進するネットワークづくりに取り組む。

**厚生労働省**  
東日本ブロック

# 労働者協同組合 周知フォーラム

2022年10月、労働者が出演し、その意見を反映して自ら従事する労働者協同組合という新しい法人制度がスタートし、全国で労働者協同組合を活用した、新しい働き方、地域づくりが広がっています。

**日時** 1/28日 13:00-16:00 (開場 12:30)

**会場** 一般財団法人埼玉労働者福祉センターとときわ会館 5階大ホール (埼玉県さいたま市浦和区幸盤 6-4-21)

**参加費** 無料 (事前申込み・定員 100名)

**会場** オンラインにも手続通訳あり

**プログラム**

- 挨拶 堀井 奈津子 (厚生労働省雇用環境・均等局長) 大野 元裕 (埼玉県知事) ヒデオメッセージ 五十嵐 立青 (茨城県つくば市長)
- 基調講演 藤原 辰史 (京都大学人文科学研究所准教授) 「労働と自治—「はたらき」から「はたらき」へ」
- 事例紹介 「労働者協同組合の設立事例」 (パネリスト: 労働者協同組合プラスイコール (北海道室蘭市) 労働者協同組合キワクト (神奈川県大和市) 労働者協同組合上田 (長野県上田市))
- 閉会挨拶 古村 伸史 (日本労働者協同組合連合会理事長)

【お知らせ】プログラムは一部変更となる場合があります。新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況によりオンラインのみ開催となる場合がございます。

共催: 厚生労働省、埼玉県  
協力: 茨城県つくば市、日本労働者協同組合連合会、ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン

労働者協同組合とは |

労働者協同組合は、労働者が組合員として出資し、その意見を反映して、自ら事業に従事することを基本原理とする組織であり、地域のみならず意見を話し合っ、助け合いながら地域の課題を解決していくという、新しい法人制度です。

設立された労働者協同組合では、実践研修を兼ねたキャンプ場の経営、研修費、成年後見支援、家事代行、給食づくり、高齢者介護など様々な事業が行われており、多種多様な事業分野で、新しい働き方を実現しています。

**会場案内**  
一般財団法人埼玉労働者福祉センター  
とときわ会館 5階大ホール  
埼玉県さいたま市浦和区幸盤 6-4-21

**【交通案内】**

- JR 京浜東北線  
「浦和駅」西口から徒歩 15分  
「北浦和駅」西口から徒歩 15分
- 国際興業バス  
「浦和駅」西口 2番乗場  
(大久保浄水場行) 又は (駅役所行)  
→「市役所北口」バス降り徒歩 3分

**お申込み | 申込締切** 2024年1月25日(木)

● 特設サイトからお申込みください。  
[https://www.roukyouhou.mhlw.go.jp/forum/forum\\_higashishinon](https://www.roukyouhou.mhlw.go.jp/forum/forum_higashishinon)

**知りたい!労働者協同組合法 厚生労働省**

**【オンライン参加の方】**

- 開催前々日までに、お申込み時に入力したメールアドレスに「Zoom参加用URL」をご案内します。
- 万一「Zoom参加用URL」が届かない場合、以下のお問合せ先までご連絡ください。

**お問合せ |**

労働者協同組合法相談窓口 (平日 9:00-17:00) 電話対応 0120-237-297